



感染防止に向けた職場環境整備を強く求める!

申11号新型コロナウイルス感染防止に対する職場の環境整備に関する申し入れ団体交渉報告

新潟地本は7月15日申11号団体交渉を行いました。この申し入れは全組合員で取り組んだ春闘の取り組みアンケートでのコロナ禍における労働環境の点検について寄せられた声を基に作成しました。

1. 水道蛇口を自動水栓化すること。また、固形石鹼のみの手洗い環境を液体石鹼に改善すること。

(組合) 社員の感染防止意識の高まりから出てきた要求である。

(会社) 社員の意識が高まっていることは理解している。自動水洗化や液体石鹼とすることで感染対策が万全となる訳ではない。液体石鹼購入は現場長判断で可能である。予算が無ければ支社に相談してもらえればよい。

2. 乗務員休養管理室の上下2段同時使用を禁止すること。

(会社) コロナ以前に2段同時使用について問題意識は持っているが現行どおりの対応をお願いする。

(組合) 狭い空間で密になっている。

(会社) 仕切カーテンの使用、空気清浄機、換気扇の使用で対応をお願いする。

4. 新潟駅西口情報連絡所の密集対策を行うこと。

5. 運輸区所における会議室・訓練室・講習室等を開放し、休憩スペースの3密を回避する選択を可能とすること。(4・5項一括議論)

(会社) 西口連絡所が混雑している実態は確認した。新潟運輸区は混雑していない印象である。休憩室は運輸区なのでそちらを利用してほしい。訓練会や輸送混乱時は他の施設を開放している。

(組合) 他区を利用していると他の施設を開放してほしいとは要請しづらい。

(会社) 混雑時には現場の判断で開放することになる。

6. マスクを着用していないお客さまに対する会社の対応を明らかにすること。

(組合) 現在もそうであるが今後ワクチン接種によりマスクを外すお客さまへの対応は?

(会社) 当社だけで判断できない。関係省庁、自治体、他の鉄道会社とも協議することになると思うが当面はマスク着用をお願いする。

7. 現業機関のフレックスタイム制導入に対する考え方を明らかにすること。

(会社) 新潟支社管内では新潟鉄道健診センターのみ。支社独自で判断するのは難しい。

8. 支社勤務者に対して不織布マスクを支給すること。

(会社) 昨年のマスク流通が滞っていた時は現業機関を優先してマスクを配布していたが、**現在は配布の仕方は様々だが誰でも手に入る環境にはある。**

9. 新潟支社付けの出向者に対して不織布マスクを支給すること。

(会社) 検討した結果支給しない判断をした。

(組合) 会社施策を担って出向先で働く社員にずいぶん冷たい対応である。マスク1枚支給されなかったり、一筆書かなければもらえない職場環境で勤務している事実を把握するべきだ。籍は新潟支社にあるのだからマスク支給について再考を求める。

*** そのほかの項目、詳細については交渉メモを参考してください。**